

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 29 (2017) 年 1 月 19 日

第 28 号

発行 株式会社ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <https://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会

中教審が次期学習指導要領の改訂案を答申

中央教育審議会は平成 28 年 12 月 21 日総会を開催し、学習指導要領の改善内容を取りまとめ、松野博一文科相に答申した。

小学校中学年からの外国語活動の導入や高学年での外国語教科化、高等学校における国語・地理歴史をはじめとした科目の再編などが内容として目立ったが、教育方法に深く踏み込んだかつてない答申となった。

「アクティブ・ラーニング」「カリキュラム・マネジメント」「社会に開かれた教育課程」など議論の中心となった改訂の“本丸”

が、どう学校現場に浸透するかがこれからの課題となりそうだ。

北山禎介中教審会長は、「何を学ぶか、どう学ぶか、どう生かすかを社会に開かれた学びの場で実現していくことを目指した充実した内容になったと思う。これを改訂に生かして行ってほしいし、期待しています」と言う。

小中の次期学習指導要領は今年度末までに告示予定。



北山会長(中央右)から松野文科相に答申を手交

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」

平成 28 年 12 月 21 日 中央教育審議会

■ 第 1 部 目次 ■

第 1 部 学習指導要領等改訂の基本的な方向性

第 1 章 これまでの学習指導要領等改訂の経緯と子供たちの現状

第 2 章 2030 年の社会と子供たちの未来

第 3 章 「生きる力」の理念の具体化と教育課程の課題

1. 学校教育を通じて育てたい姿と「生きる力」の理念の具体化
2. 「生きる力」の育成に向けた教育課程の課題
 - (1) 教科等を学ぶ意義の明確化と、教科等横断的な教育課程の検討・改善に向けた課題
 - (2) 社会とのつながりや、各学校の特色づくりに向けた課題
 - (3) 子供たち一人一人の豊かな学びの実現に向けた課題
 - (4) 学習評価や条件整備等との一体的改善・充実に向けた課題

第 4 章 学習指導要領等の枠組みの改善と「社会に開かれた教育課程」

1. 「社会に開かれた教育課程」の実現
2. 学習指導要領等の改善の方向性
 - (1) 学習指導要領等の枠組みの見直し
 - (2) 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み

出す「カリキュラム・マネジメント」の実現

- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現(「アクティブ・ラーニング」の視点)

第 5 章 何かできるようになるかー育成を目指す資質・能力ー

1. 育成を目指す資質・能力についての基本的な考え方
2. 資質・能力の三つの柱に基づく教育課程の枠組みの整理
3. 教科等を学ぶ意義の明確化
4. 教科等を越えた全ての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力
5. 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力
6. 資質・能力の育成と、子供たちの発達や成長のつながり

第 6 章 何を学ぶかー教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成ー

第 7 章 どのように学ぶかー各教科等の指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実ー

1. 学びの質の向上に向けた取組
2. 「主体的・対話的で深い学び」を実現することの意義

3. 発達の段階や子供の学習課題等に応じた学びの充実

第 8 章 子供一人一人の発達をどのように支援するかー子供の発達を踏まえた指導ー

1. 学習活動や学校生活の基盤となる学級経営の充実
2. 学習指導と生徒指導
3. キャリア教育(進路指導を含む)
4. 個に応じた指導
5. 教育課程全体を通じたインクルーシブ教育システムの構築を目指す特別支援教育
6. 子供の日本語の能力に応じた支援の充実

第 9 章 何が身に付いたかー学習評価の充実ー

1. 学習評価の意義等
2. 評価の三つの観点
3. 評価に当たっての留意点等

第 10 章 実施するために何が必要かー学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策ー

1. 「次世代の学校・地域」創生プランとの連携
2. 学習指導要領等の実施に必要な諸条件の整備
3. 社会との連携・協働を通じた学習指導要領等の実施

平成29年1月
から
毎月発行
ご注文承り中!

大好評の月刊シリーズ『新教育課程ライブラリ』
続刊ご要望にお応えして——第2弾登場!

新教育課程 ライブラリ

II 全12巻

A4判、表紙オールカラー、本文96頁(2色刷り16頁/1色刷り80頁)、横組

ぎょうせい/編

各巻定価(本体1,350円+税) 各巻送料215円
セット定価(本体16,200円+税) 送料サービス

新教育課程、いよいよ本格始動。 実行・実践の一年を徹底サポートします!

新しい学習指導要領を生かした学校づくり・授業づくりをどう進めるか?
日々の取組みに役立つ具体的な情報や実践事例を毎月お届けします。

■各巻特集テーマ

Vol.1 (平成29年1月刊)	中教審答申を読む(1)——改訂の基本的方向
Vol.2 (平成29年2月刊)	中教審答申を読む(2)——学校現場はどう変わるか
Vol.3 (平成29年3月刊)	「深い学び」を深く考える
Vol.4 (平成29年4月刊)	三つの資質・能力から考えるこれからの学校経営
Vol.5 (平成29年5月刊)	総則から読み取る学びの潮流
Vol.6 (平成29年6月刊)	新学習指導要領で学校の日常が変わる
Vol.7 (平成29年7月刊)	誌上セミナー「新しい学びを起こす授業」
Vol.8 (平成29年8月刊)	実践・これからの道徳と外国語教育
Vol.9 (平成29年9月刊)	地域を基盤としたカリキュラム開発〈LBOD〉
Vol.10 (平成29年10月刊)	子どもの成長をつなぐ保幼小連携
Vol.11 (平成29年11月刊)	すべての子どもを生かす特別支援教育
Vol.12 (平成29年12月刊)	事例集・新課程を先取りする実践先進校レポート

*各巻特集テーマ名は変更する場合がございます。

●「きょういくプレス」本年最初の号をお届けいたします。本年も引き続きご愛読いただけましたら幸いです。

●表面記事にもありますとおり、12月21日に学習指導要領の改善について中央教育審議会が答申をとりまとめました。これを受け、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領の改訂告示が、平成28年度末までに行われる予定(高等学校学習指導要領は29年度内告示予定)です。

●左に紹介の月刊シリーズ『新教育課程ライブラリ』と「きょういくプレス」で、本年も先生方のお役に立つ情報をお届けしていきます。

●「きょういくプレス」無料メール配信サービスに登録いただきますと、バックナンバーもご覧いただくことができます。下のQRコードから登録専用サイトにアクセスできますので、ぜひ登録ください。



●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <https://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者

新教育課程ライブラリII

Vol.1 中教審答申を読む(1) ——改訂の基本的方向

最新刊
Vol.1

1月24日出版

ぎょうせい編/A4判/巻定価(本体1,350円+税)/全12巻セット定価(本体16,200円+税)

■特集——中教審答申を読む(1)——改訂の基本的方向

- 今こそ求められる学びのパラダイム転換(梶田徹一)
- 中教審答申が描く学び続ける子どもと教師の姿(無藤 隆)
- 「社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント」(天笠 茂)
- 教科等と実社会とのつながりを生かす資質・能力の育成——「何ができるようになるか」(村川雅弘)
- 各学校種を通じた教育課程編成の在り方——「何を学ぶか」(田中庸恵)
- 「主体的・対話的で深い学び」と各教科等における「見方・考え方」——「どのように学ぶか」(奈須正裕)
- 子どもの学びをみとめる評価とこれからの学習活動の在り方——「何が身に付いたか」(西岡加名恵)
- 次期学習指導要領実施に向けた組織運営上の課題と方策——「実施するために何か必要か」(小島 宏)
- 幼児教育の改訂ポイント(神長美津子) ○小学校の改訂ポイント(寺崎千秋)
- 中学校の改訂ポイント(壺内 明) ○特別支援学校の改訂ポイント(砥柄敬三)
- 高等学校の改訂ポイント(荒瀬克己)

■連載 ●新課程に向けた学校づくりの実践課題(天笠 茂) / ●「育ち」と「学び」をつなげる授業II(奈須正裕) / ●事例でわかる! アクティブ・ラーニング(村川雅弘) ほかに新連載多数!

